

スズキ「スイフト」がインドのカー・オブ・ザ・イヤーを受賞 ～インドで初めて3代続けて受賞～



インド製の新型「スイフト」

インドで生産・販売する新型「スイフト」が、インドのカー・オブ・ザ・イヤーである「Indian Car of the Year (ICOTY) 2019」を受賞した。今回の受賞により「スイフト」は過去の2モデルに続き3代続けてICOTYに選ばれた唯一の車種となった。ICOTYは、インドで最も権威ある自動車賞で、インド自動車雑誌11誌、自動車評論家18名の選考委員で構成されている。

インドでは初代「スイフト」が2006年、2代目が2012年にICOTYを受賞している。今回受賞した3代目となる新型「スイフト」は、個性的でスポーティーなデザインに、しっかりしたハンドリングと高い走行性能、使い勝手の良さ等が特長のプレミアムハッチバックとしてインドのお客様から大変な好評を得ている。現在はスズキのインド生産子会社スズキ・モーター・グジャラート社で生産し、子会社マルチ・スズキ社が販売している。「スイフト」は2005年の発売以来、インド国内で累計200万台以上*が販売されている。

※ 2018年11月末現在。スズキ調べ。